

社会福祉法人真庭市社会福祉協議会

# 平成28年度事業報告書

(自) 平成28年4月1日 (至) 平成29年3月31日



# 社会福祉法人真庭市社会福祉協議会理念

## 1 基本理念

すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。

## 2 経営理念

- 住民主体の地域福祉を推進します。
- 適切で質の高いサービスを提供します。
- 経営体質を強化し、人財を育成します。

## 3 行動マインド

- 理想と誇りを持って地域福祉を進めます。
- 利用者本位で心のこもったサービスを提供します。
- 法令を遵守し、高い倫理観を持って行動します。
- 組織目標を共有し、経営能力を高めます。
- 職員としての一体感を高め、相互に協力します。

## I 事業概要

急速な少子高齢、人口減少社会の進行などにより、地域社会や家庭の様相が大きく変容する中、子育てや介護、社会的孤立の問題、貧困や権利擁護の問題等、地域における生活問題は多様化し、世帯に1つの問題ではなく、多様な問題を重複して抱えるものとなっています。

また真庭市社会福祉協議会を取り巻く財政状況も年々厳しさを増しています。

このような状況の中、本会の基本理念「すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現」を目指し、経営理念、行動マインドを実現するため諸事業に取り組んで参りました。

本会の基本計画である「第2次地域福祉活動計画見直し計画」を基に事業を推進しました。

また、「第2次地域福祉活動計画見直し計画」の最終年度であり、平成29年度～平成33年度まで5ヵ年の「第3次地域福祉活動計画」を策定しました。

小地域福祉活動の推進については、アウトリーチ活動、「地域助けあい事業」に重点を置き地区社協活動の推進、福祉委員の役割の理解・活動支援他、地域福祉の充実を図りました。

介護事業については、質の高いサービス提供と経営体質改善を目指し業務改善に取り組みました。

経営体質改善として、中期経営計画を推進し、自主財源の確保に努め、市民から寄せられた社協会費や善意の寄付金、共同募金の活用について、善意銀行運営委員会や基金運営委員会等で協議して有効活用を図りました。

また、平成29年度～平成31年度まで3ヵ年の「第2期中期経営計画」を策定しました。

職員の資質向上については、本会の経営方針のもと、職員が年間の各部門計画・個人目標を掲げて業務にあたることにより、組織の目標達成に向けた体制づくり、人材育成に取り組みました。

特別会計の地域福祉センター「百楽苑」については、社会福祉法人郁青会への譲渡が完了しました。

以下、分野ごとに事業内容を報告します。

## II 重点事業

真庭市社会福祉協議会の理念に基づき、すべての市民が安心して暮らせる地域社会の実現をめざして、質の高い福祉サービスの提供と、住民主体の地域福祉を推進するため、平成 28 年度は、次の事業に重点をおき実施しました。

### 1 社会福祉事業会計

#### (1) 真庭市との連携

##### 【目標】

地域福祉の推進及び個別具体的に必要な福祉事業の提供のため、職員及び事業用資産の確保に資する真庭市の支援を得ながら、専門性の向上とともにさらなる地域福祉活動の活性化と、真庭市福祉行政及び施策への参加・協力を行っていきます。また、真庭市内の介護保険サービスの提供体制の確保のために介護保険サービス提供事業者としての充実を図り、障がい者自立支援サービスや総合事業などの真庭市事業の受託による福祉サービスの提供に努めていきます。

さらに、真庭市との協議・連携により真庭市社会福祉協議会の地域福祉推進に向けた体制の整備を図っていきます。

##### 【実績】

事業推進のための、人員の財源確保や事業推進について協議を重ねました。また、真庭市と情報共有連携を深める為、健康福祉部各課と定期的に連絡会議を開催しました。(隔月)

#### (2) 第 3 次地域福祉活動計画（平成 29 年度～33 年度）の策定

##### 【目標】

第 2 次地域福祉活動計画（平成 24 年度～平成 28 年度）の評価を行うとともに、第 3 次地域福祉活動計画（平成 29 年度～平成 33 年度）の策定に取り組みます。

##### 【実績】

第 2 次地域福祉活動計画の評価を行うとともに、第 3 次地域福祉活動計画（平成 29 年度～平成 33 年度）を策定しました。

#### (3) 中期経営計画の策定

##### 【目標】

持続可能な経営基盤の確立を図り、限られた財源の中で効率的・効果的な事業を行い、さらに組織として経営改善に取り組めるよう平成 29 年度からの中期経営計画を策定します。

##### 【実績】

平成 29 年度～31 年度の中期経営計画を策定しました。

#### (4) 地域助けあい事業の推進

##### 【目標】

平成 27 年度から始まった「地域助けあい事業」の周知と浸透を図るとともに、全地区社協での事業推進となるよう取り組みます。

**【実績】**

地域助けあい事業推進に向け全地区社協で説明会を開催しました。また、助けあい会議を 28 地区社協で延べ 55 回開催しました。

**2 収益事業会計**

**地域福祉センター「百楽苑」**

**【目標】**

平成 27 年度で収益事業を廃止後、基本財産、運用財産の処分手続き及び備品整理等を実施し、社会福祉法人郁青会へ譲渡するため円滑に手続きを進めます。

**【実績】**

平成 28 年 5 月 13 日に社会福祉法人郁青会へ譲渡、所有権移転が完了しました。市道及び一部山林については、平成 29 年 3 月に真庭市へ所有権移転が完了しました。



### Ⅲ 事業実施項目

#### 1 法人運営

##### (1) 組織運営

###### 【目標】

地域福祉推進体制の充実及び各種事業のサービス提供体制の充実を目指します。

##### ① 理事会

###### 【目標】

開催目標 7 回(平成 27 年度実績 8 回)

役員研修会の実施、責任体制の明確化、委員会組織の活性化

###### 【実績】

###### ●第 1 回理事会

日 時 平成 28 年 5 月 23 日(月)14 : 00～

場 所 久世公民館

出席者 理事 12 名・監事 1 名 事務局長他

協議事項 評議員選任について

平成 27 年度事業報告、会計決算、監査報告について他

###### ●第 2 回理事会

日 時 平成 28 年 9 月 12 日(月)14 : 05～

場 所 久世公民館

出席者 理事 14 名・監事 2 名 事務局長他

協議事項 評議員の選任について

定款の一部改正について

平成 28 年度第 1 次補正予算について他

###### ●第 3 回理事会

日 時 平成 28 年 12 月 13 日(火)13 : 30～

場 所 久世公民館

出席者 理事 12 名・監事 2 名 事務局長他

協議事項 定款の改正について

平成 28 年度第 2 次補正予算について他

###### ●第 4 回理事会

日 時 平成 29 年 2 月 21 日(火)13 : 30～

場 所 久世公民館

出席者 理事 13 名・監事 2 名 事務局長他

協議事項 評議員の選任について

規程の一部改正について

第 3 次地域福祉活動計画(案)、中期経営計画(案)について他

●第5回理事会

日 時 平成29年3月23日(月)13:30～  
場 所 久世公民館  
出席者 理事12名・監事2名 事務局長他  
協議事項 第3次地域福祉活動計画(案)、中期経営計画(案)について  
平成28年度第3次補正予算について  
平成29年度事業計画(案)、当初予算(案)について他

② 監事会 (監査)

【目標】

開催目標3回  
役員研修会の実施

【実績】

監事監査3回 内部監査1回

●平成27年度決算監査

日 時 平成28年5月11日(水)09:30～  
場 所 久世保健福祉会館 社協会長室  
内 容 平成27年度事業及び一般会計・特別会計・財産目録の監査  
出席者 監事 浜子 尊行、大美 康雄

●平成28年度随時監査(第1回)

日 時 平成28年11月16日(水)10:00～  
場 所 久世保健福祉会館 社協会長室  
内 容 平成28年4月～8月末までの監査他  
出席者 監事 浜子 尊行、大美 康雄

●平成28年度随時監査(第2回)

日 時 平成29年2月17日(金)10:00～  
場 所 久世保健福祉会館 社協会長室  
内 容 平成28年9月～12月末までの監査他  
出席者 監事 浜子 尊行、大美 康雄

●平成28年度内部監査

日 時 平成28年12月～平成29年1月  
場 所 本所・全支所  
内 容 小口現金、各種団体会計、支所施設預金通帳、共同募金通帳、  
歳末たすけあい通帳、日常生活自立支援事業保管品、  
やすらぎ入所者保管品、金庫内保管品等の内部監査  
実 施 者 事務局長、次長、佐藤参事、三谷主幹

③ 評議員会

【目標】

開催目標5回(平成27年度実績6回)

## 研修会の実施

### 【実績】

#### ●第1回評議員会

日 時 平成28年5月25日(水)13:30～  
場 所 久世公民館  
出席者 評議員27名 会長・副会長・監事・事務局長他  
協議事項 定款の一部改正について  
平成27年度事業報告、会計決算、監査報告について他

#### ●第2回評議員会

日 時 平成28年9月23日(金)13:30～  
場 所 久世公民館  
出席者 評議員25名 会長・副会長・事務局長他  
協議事項 平成28年度会計第1次補正予算について他

#### ●第3回評議員会

日 時 平成28年12月15日(木)13:30～  
場 所 久世公民館  
出席者 評議員23名 会長・副会長・事務局長他  
協議事項 定款の改正について  
平成28年度会計第2次補正予算について他

#### ●第4回評議員会

日 時 平成29年2月22日(水)13:30～  
場 所 久世公民館  
出席者 評議員24名 会長・副会長・事務局長他  
協議事項 規程の一部改正について他

#### ●第5回評議員会

日 時 平成29年3月27日(月)13:30～  
場 所 久世公民館  
出席者 評議員25名 会長・副会長・事務局長他  
協議事項 第3次地域福祉活動計画(案)、中期経営計画(案)について  
平成28年度第3次補正予算について  
平成29年度事業計画(案)、当初予算(案)について他

#### ④ 業績検討会

### 【目標】

役職員による介護事業及び地域福祉事業の業績検討会を実施

### 【実績】

三役会で業績検討の実施

三役会議 (久世保健福祉会館)

第1回 平成28年5月16日(月) 第2回 平成28年6月30日(木)



第3回 平成28年 9月 6日(火) 第4回 平成28年12月 7日(水)  
第5回 平成29年 2月16日(木) 第6回 平成29年 3月13日(月)

⑤ 人材育成を目的とした人事評価制度の実施

【目標】

真庭市社会福祉協議会の理念と、行動マインドの実践や職員の経営参画意識を高めるため、各部門計画・個人目標を掲げ業務にあたることにより、目標達成に向けた意識の向上を図り、人材の育成を目的に人事評価を実施します。

【実績】

各部門目標、個人目標を設定して業務にあたり、フィードバック面接実施等人材育成に取り組みました。

⑥ 財務管理委員会

第1回

平成28年11月8日(火) 久世公民館

協議事項 地域福祉活動団体助成要綱検討他

第2回

平成29年3月1日(水) 久世公民館

協議事項 平成29年度地域福祉活動団体助成審査他

⑦ 基金運営委員会

地域福祉活動基金は、多様化する住民の福祉ニーズに対し、福祉事業の安定的な発展を図ることを目的として設置され、地域福祉活動基金設置運営規程第4条第2項の規定により本委員会において適正に運営を行いました。

第1回 平成29年3月23日(木) 久世公民館

協議事項 平成29年度基金利息予算額と事業計画他

⑧ 善意銀行運営委員会

広く人々の善意の預託を受け、これを効果的に社会に還元し、もって福祉の増進を図ることを目的とする善意銀行の適正な運営のため、運営に関する事項を協議しました。

第1回 平成29年3月23日(木) 久世公民館

協議事項 平成29年度予算額と事業計画他

⑨ 試験委員会

正職員及び常勤契約職員採用試験において、公平・公正の確保、客観的な評価、適正な人材の採用等のため本委員会を開催しました。

第1回 平成28年 6月16日(木) 久世保健福祉会館 常勤職員面接試験選考

第2回 平成28年 9月11日(日) 落合老人福祉センター 正職員採用筆記試験選考

第3回 平成28年 9月17日(土) 落合老人福祉センター 正職員採用面接試験選考

第4回 平成28年 9月23日(金) 久世保健福祉会館 正職員採用選考

⑩ 理事・評議員定数等検討委員会

社会福祉法改正に伴い、理事・評議員の定数等について見直しが必要となったため本委員会を開催しました。

第1回 平成28年10月4日(火) 久世公民館

第2回 平成28年10月19日(水) 久世公民館

⑪ 評議員選任・解任委員会

社会福祉法改正に伴い、定数に定められた新評議員選任のため本委員会を開催しました。

第1回 平成29年3月10日(金) 久世公民館

⑫ 表彰審査会

多年にわたり地域福祉の向上に携わり、その功績が顕著な者及び団体に対して本会会長から表彰状又は感謝状及び記念品を贈呈するにあたり、本会表彰規程に基づき、公平・公正な審査により被表彰者の選考を行い、会長に答申しました。

第1回 平成28年10月19日(水) 久世保健福祉会館 会長表彰審査

⑬ 地域密着型介護老人福祉施設 やすらぎ運営推進会議

やすらぎ運営推進会議は、地域密着型介護老人福祉施設やすらぎでの施設サービスを地域住民に報告し、意見、要望、助言等を受け、施設運営に反映させ、利用者の生活の向上を図ることを目的としています。このために、利用者、利用者の家族、真庭市職員、地域福祉推進委員、地域住民の代表者等と2か月毎に開催しました。

第1回 平成28年5月11日(水) 湯原保健福祉センター

第2回 平成28年7月13日(水) 湯原保健福祉センター

第3回 平成28年9月14日(水) 湯原保健福祉センター

第4回 平成28年11月9日(水) 湯原保健福祉センター

第5回 平成29年1月11日(水) 湯原保健福祉センター

第6回 平成29年3月8日(水) 湯原保健福祉センター

⑭ 地域密着型通所介護事業所運営推進会議

第1回 平成28年7月13日(水) 湯原保健福祉センター

第2回 平成29年1月11日(水) 湯原保健福祉センター

⑮ 社会福祉大会実行委員会

第1回 平成28年9月2日(金) 久世公民館

第2回 平成28年10月5日(水) 久世公民館

第3回 平成28年11月4日(金) 久世公民館

⑯ 研修会

ア 人事管理制度研修会

日時 平成28年8月30日(火) 18:30～

場所 久世公民館

内容 「社協経営における人事制度の意義

69人参加

人事評価における注意点と目標管理の重要性について  
 前期決算業績と当期実績の動向  
 上半期を振り返り自部門の重要目標を再認識

講師 (株)経営開発センター 代表取締役社長 野崎悦雄氏

イ 交通安全講習会

日時 平成 28 年 10 月 18 日(火) 18:00～ 落合老人福祉センター 53 人参加  
 場所 平成 28 年 10 月 20 日(木) 18:00～ 湯原保健福祉センター 43 人参加  
 内容 「交通事故防止について」  
 講師 真庭警察署 妹尾宣明交通第一係長

ウ 人事評価者研修会

日時 平成 28 年 11 月 29 日(火) 18:30～ 20 人参加  
 場所 久世保健福祉会館  
 内容 (1) 評価者としての必要となる基本的考え方  
 (2) 人事評価ケーススタディ  
 (3) 面接の進め方とポイント  
 講師 (株)経営開発センター 代表取締役社長 野崎悦雄氏

(2) 財務運営

【目標】

中期経営計画の実施と、真庭市の財政支援の確保を図り、福祉事業の財源となる社協会費、善意寄付、各種募金の増強に取り組み、介護事業所の効率的運営による事業収支の改善を図ることで、真庭市社会福祉協議会の財務基盤の強化を目指しました。

【実績】

① 自主財源の増強 社協会費、善意寄付金収入、共同募金収入、収益事業収入

ア 社協会費 会費実績額 14,365,700 円〔一般 11,623,700 円 特別 2,742,000 円〕  
 (前年対比 △146,800 円 一般 △172,800 円 特別 26,000 円)

本支所名	一般会費	特別会費	合計
本所(久世)	2,380,500 円	632,000 円	3,012,500 円( 58,000 円)
北房支所	1,512,000 円	434,000 円	1,946,000 円( △15,000 円)
落合支所	3,289,500 円	666,000 円	3,955,500 円( 69,500 円)
勝山支所	1,899,700 円	420,000 円	2,319,700 円(△128,800 円)
美甘支所	397,000 円	40,000 円	437,000 円( △13,000 円)
湯原支所	818,000 円	258,000 円	1,076,000 円( △42,500 円)
中和支所	176,000 円	27,000 円	203,000 円( 3,000 円)
八束支所	636,000 円	195,000 円	831,000 円( △24,000 円)
川上支所	515,000 円	70,000 円	585,000 円( △54,000 円)
計	11,623,700 円	2,742,000 円	14,365,700 円(△146,800 円)

## イ 善意寄付金収入

実績額 708 件(△31 件)10,768,119 円(△962,724 円)

本支所名	件数	金額
本所(久世)	153(△6)	2,381,336 円(△11,931 円)
北房支所	109(△7)	1,616,000 円(△576,343 円)
落合支所	162(10)	2,108,465 円(△79,460 円)
勝山支所	108(△12)	1,273,650 円(△304,031 円)
美甘支所	38(4)	520,971 円(50,971 円)
湯原支所	47(△19)	829,000 円(△221,000 円)
中和支所	12(1)	313,121 円(98,494 円)
八束支所	55(5)	1,170,000 円(125,000 円)
川上支所	24(△7)	555,576 円(△44,424 円)
合計	708(△31)	10,768,119 円(△962,724 円)

## ウ 赤い羽根共同募金実績額 6,178,785 円(前年対比 △79,574 円)

歳末たすけあい募金実績額 3,242,529 円(前年対比 △30,571 円)

本支所名	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金	合計
本所(久世)	1,336,305 円	704,314 円	2,040,619 円(6,101 円)
北房支所	853,038 円	446,500 円	1,299,538 円(16,954 円)
落合支所	1,474,778 円	779,050 円	2,253,828 円(△43,609 円)
勝山支所	1,145,855 円	563,565 円	1,709,420 円(2,295 円)
美甘支所	215,245 円	115,700 円	330,945 円(△3,182 円)
湯原支所	415,053 円	219,200 円	634,253 円(△29,795 円)
中和支所	85,855 円	47,100 円	132,955 円(△21,484 円)
八束支所	389,328 円	202,300 円	591,628 円(△28,883 円)
川上支所	263,328 円	164,800 円	428,128 円(△8,542 円)
合計	6,178,785 円	3,242,529 円	9,421,314 円(△110,145 円)

## ② 真庭市の負担金及び補助金の確保

## 【目標】

負担金 43,320 千円、補助金 37,821 千円、負担金補助金合計 81,141 千円を確保します。

## 【実績】

真庭市補助金等 &lt;( ) は前年度対比&gt; 合計 81,141,000 円(△30,390,000 円)

a 負担金 (福祉活動専門員の人件費)	計 43,320,000 円(0 円)
(a) 福祉活動専門員設置負担金	32,220,000 円(0 円)
(b) 福祉団体活動負担金	7,830,000 円(0 円)
(c) 日常生活自立支援事業の職員人件費	3,270,000 円(0 円)
b 補助金	計 37,821,000 円(△30,390,000 円)
(a) 福祉活動専門員以外の職員人件費	33,821,000 円(0 円)
(b) 介護保険運営補助	4,000,000 円(△2,000,000 円)
(c) 老人福祉施設運営費補助金(落合・久世センター分)	0 円(△28,390,000 円)

### ③ 介護保険関係事業の経営改革

#### 【目標】

サービス区分ごとの経営管理体制の強化による経営の安定化を図ります。

#### 【実績】

財務体質改善に向け、各事業所管理者・サービス提供責任者等で、協議検討し、サービスの質の向上や業務改善に取り組みました。

### (3) 指定管理事業

#### 【目標】

指定管理業務においては、適正な管理運営に努めます。また、湯原保健福祉センターについては、介護保険サービス事業の経営の安定化を図ることに努めます。

#### 【実績】

指定管理料	合計 40,080,000 円 前年度対比(△88,000 円)
ア 湯原保健福祉センター管理料	26,517,000 円(指定期間 平成 27～31 年度)
イ 中和デイサービスセンター管理料	2,281,000 円(指定期間 平成 27～29 年度)
ウ 八束老人福祉センター管理料	3,263,000 円(指定期間 平成 27～29 年度)
エ 川上保健センター他 2 施設管理料	8,019,000 円(指定期間 平成 27～29 年度)

## 2 地域福祉事業

### (1) 住民参加活動の推進

#### ① 小地域福祉活動の推進

地域住民が主役となって活動に参加し、地域づくりを進める中で「地域の福祉力」を高め、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みをしました。

#### ア 地区社協組織の活性化

##### 【目標】

地域助けあい事業の推進を図るとともに、地域での見守り体制の整備に向け社協職員が積極的にかかわり、住民主体の活動を進めます。座談会等の開催(開催目標 地区社協ごとに年 1 回以上) 地域助けあい会議(年 2 回)の開催と助けあいマップ作成による地域での見守り体制の整備及び、困りごとを抱えた人への支援。

##### 【実績】

地域助けあい事業の推進に向けて全地区社協で説明会を行いました。また、支援が必要な方の把握や情報共有を行う「助けあい会議」を 28 地区社協で開催し、助けあいマップを通して、見守り体制の整備や困りごとを抱えた方への支援を行いました。

地区社協活動の指標を基に、福祉活動専門員が地区社協へ積極的に関わりました。

各地区社協単位に市内で 55 回助けあい会議を開催しました。

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
地区社協数	5	7	9	3	1	4	1	1	1
助けあい会議開催数	10	10	11	12	1	6	2	1	2
地区社協による定期的な見守りが必要な世帯	88	258	107	191	41	120	45	12	79
社協職員と専門職の訪問が必要な世帯	8	28	17	31	0	15	3	0	8
助けあい事業のサービスを勧めたい世帯	4	15	12	11	5	5	1	3	2
地域での見守り件数	577	1,317	660	993	492	1,644	576	12	996

地区社協助成金の交付

市内地区社協 32 地区 活動助成金 7,612,450 円(前年対比△17,026 円)

○北房支所(5 地区)

・中津井せんだんの会福祉部	助成額	239,300 円
・砦部地区社協	助成額	259,950 円
・阿口竜王会	助成額	66,250 円
・上水田地区社協	助成額	296,700 円
・水田むらづくりの会	助成額	269,050 円

○落合支所(7 地区)

・落合地区福祉のむらづくり推進委員会	助成額	400,000 円
・天津地区社会福祉協議会	助成額	289,700 円
・津田地区むらづくり推進委員会	助成額	173,450 円
・木山地区社会福祉協議会	助成額	306,500 円
・美川地区社会福祉協議会	助成額	277,450 円
・河内地区福祉の村づくり	助成額	242,100 円
・川東地区社会福祉協議会推進委員会	助成額	318,750 円

○本所(9 地区)

・宮芝・町西福祉の会	助成額	239,400 円
・久世まちなか社会福祉協議会	助成額	261,350 円
・ひまわり福祉の会	助成額	176,700 円
・遷喬東地区社会福祉協議会	助成額	207,000 円
・川南地区社会福祉協議会	助成額	256,800 円
・草加部地区社会福祉協議会	助成額	156,300 円
・米来地区社会福祉協議会	助成額	264,500 円
・檜邑地区社会福祉協議会	助成額	91,450 円
・余野地区社会福祉協議会	助成額	73,600 円

○勝山支所(3 地区)

・勝山小学校区社会福祉協議会	助成額	460,000 円
・月田地区コミュニティ協議会	助成額	256,800 円
・富原地区高齢者福祉のむらづくり推進委員会	助成額	237,000 円

- 美甘支所(1 地区)
  - ・美甘地区地域福祉推進委員会 助成額 254,000 円
  
- 湯原支所(4 地区)
  - ・湯原東地区社協 助成額 243,850 円
  - ・湯原南地区社協 助成額 145,200 円
  - ・湯原西地区社協 助成額 135,900 円
  - ・二川ふれあい地域づくり委員会 助成額 157,000 円
  
- 中和支所(1 地区)
  - ・中和地区社協 助成額 130,000 円
  
- 八束支所(1 地区)
  - ・八束地区社協 助成額 401,000 円
  
- 川上支所(1 地区)
  - ・川上地区社協 助成額 325,400 円

#### イ ふれあい・いきいきサロンの推進

##### 【目標】

身近な地域で気軽に参加でき、「豊かに暮らせる福祉コミュニティ」づくりを目的としてサロンの設置を推進します。また、現行のサロンが継続できるよう、メニュー提供やサロンの集い等を開催し情報交換の場を設けます。

社協職員がサロンに積極的に出向き、地域住民のサロン推進への関わりや地域福祉活動への理解を進めます。

##### 【実績】

「ふれあい・いきいきサロン」の設置推進と活動助成

活動助成金 4,600,950 円(歳末助成 606,400 円含む)(前年度対比 75,352 円)

地区別設置数 196 サロン(前年度対比△4 サロン) (サロン数)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	全域
26	41	30	48	7	16	3	11	13	1

「おためしサロン」の開催等、サロンの普及啓発活動を実施しました。

#### ウ 福祉委員活動の充実

##### 【目標】

身近な地域の見守り、アンテナ役として役割が浸透するように、福祉委員研修会や地区社協座談会で具体的な役割の提示をします。福祉委員研修会の開催、開催目標年 2 回以上(各支所)福祉委員組織の必要性について地区の特性等を考慮し協議・検討を行います。

##### 【実績】

福祉委員研修会を市内 13 会場で開催し、「地域のアンテナ役!福祉委員さん!!」DVDの活用や「福祉委員の手引き」等で福祉委員の役割について説明しました。

福祉委員数計 859 名 研修等開催数計 15 回 (名、回)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
福祉委員数	98	243	136	144	55	78	13	56	36
研修等開催数	1	1	2	3	2	2	1	2	1

## エ 見守りネットワークの構築

### 【目標】

福祉委員と民生委員児童委員との連携・情報交換の場づくり、福祉情報等の提供を積極的に行います。福祉委員、民生委員児童委員合同会議を開催します。救急医療情報キット設置や更新時による見守り活動の充実を推進します。地域助けあい事業による見守り活動の推進を行います。

### 【実績】

各地区社協単位に市内で 62 回座談会を開催し、地区社協、福祉委員、民生委員児童委員の連携や情報交換を行いました。また、救急医療情報キット等の推進にもつながりました。

開催回数 (回)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
10	7	9	12	7	10	0	1	6

## オ 小地域福祉活動を支える人材の育成

### 【目標】

地域福祉活動の活性化や意識の高揚のために、研修会や意見交換会を開催します。地域福祉推進委員会の開催。地域福祉推進委員代表者会議の開催。地域福祉活動担い手研修会の開催。

### 【実績】

(ア) 地域福祉推進委員会

#### 【目標】

開催目標各支所 3 回以上

#### 【実績】

地域福祉推進委員会 委員数計 94 名、開催計 30 回 (名、回)

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
推進委員数	12	15	14	14	8	11	5	10	5
委員会回数	5	3	3	3	4	5	2	2	3

(イ) 地域福祉推進委員代表者会議

#### 【目標】

開催目標年 3 回以上

#### 【実績】

地域福祉推進委員代表者会議開催 2 回

日時 平成 28 年 6 月 24 日(金)

平成 29 年 3 月 28 日(火)

各地域での活動の現況報告、地域助けあい事業推進についての協議、情報交換等を行いました。



(ウ) 地域福祉活動担い手研修会の開催

【目標】

開催目標年 1 回

【実績】

地域福祉推進委員、地区社協関係者、福祉委員等を対象に研修会を行いました。

演題 「地参・地笑の地域づくり」

講師 小坂田稔氏（美作大学生活科学科社会福祉学科教授）

日時 平成 28 年 12 月 2 日（金）13：30～

場所 久世公民館

② 当事者及び当事者組織の支援

市内で活動する福祉団体等の活動を自立に向けて支援します。また、当事者の相談や、社会参加、問題解決、自立等に向けて支援します。

ア 当事者の社会参加支援

【目標】

当事者の交流・社会参加を支援するため、真庭市や真庭地域自立支援協議会と連携して各種交流事業を開催します。

【実績】

第 5 回真庭地域ふれあいスポーツフェスティバルの開催にあたり、実行委員会委員として出席し、また後援団体として協働しました。

イ 各種当事者組織の自主運営に向けた、活動支援及び組織化

【目標】

(ア) 当事者組織の自主運営に向けて、真庭市及び各団体と活動内容を協議しながら活動支援を行います。また、市補助金の見直しに係る適正化についても各団体と適正な支出に向けた検討を行います。

(イ) 情報提供と会員相互の交流に向けた取り組み

a 真庭市老人クラブ連合会活動支援

b 真庭市身体障害者福祉協会活動支援

c 真庭市手をつなぐ親の会活動支援

d 真庭市遺族会連合会活動支援

(ウ) 新たなニーズに対する当事者組織の立上げについて、関係機関等と協力し、支援を行います。

【実績】

市内で活動する福祉団体等の事務局を担当し、活動支援を行いました。また、真庭市の基本方針を受け、説明を行うとともに自主運営に向けた支援を行いました。

(ア) 真庭市老人クラブ連合会活動支援

【目標】

会員の目標 9,643 名。自立に向けた取り組み。

【実績】

会員数 8,707 名（前年対比△421 名） 市補助金 11,837,000 円

総会、役員会、社会福祉大会、老人クラブ大会、スポーツ大会、研修等。

(イ) 真庭市身体障害者福祉協会活動支援

【目標】

自立に向けた活動の支援。

【実績】

会員数 631 名(前年対比△79 名) 市補助金 1,300,000 円

総会、役員会、社会福祉大会、スポーツ大会、研修会、囲碁将棋大会、福祉展、健康体操の作成等。

(ウ) 真庭市手をつなぐ親の会活動支援

【目標】

情報提供と会員相互の交流に向けた取り組み。自立に向けた活動の支援。

【実績】

会員数 93 名(前年対比△1 名) 市補助金 250,000 円

総会、役員会、県大会、研修交流会等。

(エ) 真庭市遺族会連合会活動支援

【目標】

遺族会の活動が円滑にできるよう支援。

【実績】

会員数 1,124 名(前年対比△276 名) 市補助金 1,281,743 円

総会、役員会、県代表者大会等。

ウ 当事者組織との協働活動の推進

【目標】

就労支援事業所・作業所へ必要な情報を提供し、真庭地域自立支援協議会への参加により障がい者(児)支援を推進します。

社会福祉大会等において各作業所の製品を展示し、作業所の紹介をします。

【実績】

真庭地域自立支援協議会へ参加し、情報交換や事業協力を行いました。

また、毎年開催している社会福祉大会では、コーナーを設け作業所で作られた物品の販売を行いました。

③ ボランティア活動者の育成支援

地域活動の中で見えてきたニーズをもとに、人材の発掘と育成を図ります。

ア ボランティア市民活動センター及びボランティアステーションの機能の強化

【目標】

ボランティア活動がしやすい環境を整え、ボランティア活動の活性化を目指します。

(ア) ボランティアコーディネート

(イ) ボランティア活動に関する情報収集と情報提供

(ウ) ボランティア保険の加入推進(掛金の一部助成)

(エ) 市内ボランティア団体、市民活動への活動支援(地域福祉活動団体への支援)

(オ) ボランティア活動の広報啓発

【実績】

(ア) ボランティアコーディネート

本所内に「ボランティア市民活動センター」を設置し、ボランティア活動の

コーディネート、支所及び関係機関との連絡調整等を行いました。

地区別ボランティア相談件数 168 件 (前年度対比△26 件) (件)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
6	32	43	12	5	15	10	2	5	38

市内ボランティアの組織化による交流促進及び活動の活性化支援、ボランティアの安全確保、市内ボランティア活動及び市民活動への助成

ボランティアステーションの機能強化。社協各支所内に「ボランティアステーション」を設置し、ボランティア登録を行い、ボランティア相談窓口を開設し、相談に応じました。

地区別ボランティア登録者数 1,383 名 (前年度対比 19 名) (名)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
155	229	256	250	30	47	17	55	61	283

(イ) ボランティア活動に関する情報収集と情報提供

(ウ) ボランティア保険の加入促進 (掛金の一部助成)

(エ) 市内ボランティア団体、市民活動への活動支援 (地域福祉活動団体への支援)

各種福祉関係団体助成の実施

助成団体 13 団体 (前年度対比△1)

助成金 1,243,000 円 (前年度対比△103,126 円)

・北房更生保護女性会	助成額	24,000 円
・落合ヘルスボランティア連絡協議会	助成額	211,000 円
・手作りおもちゃボランティア「チャチャ」	助成額	30,000 円
・あじさいの会	助成額	73,000 円
・月田ボランティアグループ	助成額	133,000 円
・富原福祉のむらづくりボランティアグループ	助成額	250,000 円
・湯原ボランティアの会	助成額	70,000 円
・子育て応援隊	助成額	104,000 円
・蒜山認知症介護者の会	助成額	22,000 円
・真庭市ボランティア連絡協議会	助成額	150,000 円
・蒜山地区福祉運動会	助成額	28,000 円
・どーなつの会	助成額	100,000 円
・介護家族交流会「なごみ会」	助成額	48,000 円

(オ) 社協だより等でボランティア活動の広報啓発を行いました。

イ 災害ボランティアセンターなどの災害緊急対応体制の整備

【目標】

(ア) 災害ボランティアセンター設置訓練への参加

(イ) 真庭市と連携し、災害時における支援体制の整備

【実績】

(ア) 災害対応マニュアルを作成し、災害時における対応等を共通認識として確認しました。

(イ) 災害時の支援体制を構築するため、災害時における相互支援に関する協定を真庭市と締結しました。

#### ウ ボランティアの養成・育成

##### 【目標】

- (ア) 夏のボランティア体験事業の開催
- (イ) 子育て支援養成講座の開催

##### 【実績】

- (ア) 夏のボランティア体験事業 参加者数 263 人(前年度対比△76 人) (人)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
58	96	29	35		8	37		

事前研修及び事後研修は 6 か所で実施(北房・落合・久世・勝山・湯原・蒜山会場)

- (イ) 子育て支援養成講座の開催

- ・子育てボランティア養成講座

日時 平成 28 年 12 月 5 日(月) 13 : 30～

平成 28 年 12 月 12 日(月) 13 : 30～

平成 28 年 12 月 14 日(水) 13 : 30～

場所 勝山保健福祉センター

#### エ ボランティアネットワークの活性化

##### 【目標】

- (ア) 市内ボランティア団体の連携・交流・情報交換  
ボランティア交流会の開催 開催目標 2 回  
ボランティア研修会の開催 開催目標 1 回
- (イ) 真庭市ボランティア連絡協議会等の活動支援  
ボランティアの活動が活性化するよう「社協だより」の活用やホームページ等で情報を発信し、住民参加と理解を促進します。
- (ウ) 関係機関と連携した活動の展開

##### 【実績】

- (ア) 支所単位に、研修会や情報交換会を実施しました。

- ・ボランティア研修・交流会 i n 勝山

日時 平成 28 年 8 月 27 日(土) 10 : 00～

場所 勝山文化センター

- ・ボランティア交流会 i n 久世

日時 平成 29 年 2 月 25 日(土) 10 : 00～

場所 久世公民館

- (イ) 真庭市ボランティア連絡協議会等の活動支援

ボランティア活動の活性化に向けて「社協だより」やホームページ等で情報発信を行いました。

- (ウ) 真庭市市民活動支援プラザと連携を図り、ボランティア団体等へ研修会等の情報提供を効果的に行いました。

#### ④ 地域包括ケアシステムの構築

##### 【目標】

地域の中で援助を必要とする人の福祉課題の早期発見・早期対応のための仕組みづくりに、地域包括ケアシステム構築を進める中心機関である地域包括支援センター等と連

携、協働し取り組みます。

**【実績】**

ア 地域包括支援センターと連携し、役割についての協議や地域での見守りネットワーク活動等について協議・検討を行いました。

イ 生活圏域ケア会議の進め方について、地域包括支援センターと7圏域ごとに協議を重ねました。

⑤ 新たな公共活動の開発・推進

**【目標】**

地域の課題解決を図るため、NPOや企業等との協働による支援活動の取り組みへ参加します。

ふれあい・いきいきサロンでの移動販売拡充に向け、各サロンへの情報提供と活用に取り組みます。

**【実績】**

地域助けあい事業を推進し、定期的な見守り体制の構築を図りました。

真庭市の行う地域見守りネットワーク事業「まにわのわ」に社協（本所及び各支所、各事業所）として登録しました。

(2) 個別支援活動の推進

① ニーズの早期発見・早期支援体制の確立

**【目標】**

社協職員によるアウトリーチ活動を積極的に行うとともに、地区社協、民生委員児童委員、福祉委員や地域住民による見守り活動を基盤とし、地域ニーズの早期発見を行い、早期かつ適切な支援につなげていきます。

ア 困りごとの早期発見・早期支援の仕組みづくりの推進

(ア) 地域助けあい事業による見守り、支援活動の推進

(イ) 助けあい会議で「助けあいマップ」作成による支援が必要な世帯の把握

(ウ) 見守りの連携強化

イ 専門職による地域でのアウトリーチ活動の推進

ウ 住民座談会の開催

**【実績】**

ア 困りごとの早期発見・早期支援の仕組みづくりに向け、地区社協座談会で福祉委員や民生委員等による見守り活動の必要性について説明と依頼を行い地域助けあい事業を推進しました。

また、平成28年度までに30地区社協で助けあい会議を開催し、「助けあいマップ」を作成し、見守りネットワークづくりを進めました。

イ 福祉活動専門員により要援護世帯の訪問活動を行い、他職種と連携し、適切な福祉サービスの利用に繋げました。

ウ 32 地区社協で座談会を開催しました。

② 在宅福祉活動

ア 高齢者支援の推進

【目標】

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等の在宅での生活を支えるため、各種在宅福祉サービスを実施します。

(ア) 一人暮らし高齢者のつどい、配食サービス等

(イ) 福祉機器介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、声の広報

(ウ) 福祉移送サービス・高齢者等給食サービス事業[真庭市受託事業]

真庭市介護予防・日常生活支援総合事業(生活支援サービス事業)[真庭市受託事業]

(エ) お助け訪問事業 [真庭市受託事業]

【実績】

(ア)・歳末配食サービス

[実施支所] 勝山、美甘、中和、八束、川上

・歳末友愛訪問

[実施支所] 本所(久世地域)、落合、美甘

・歳末ひとり暮らしのつどい

[実施支所] 北房、落合、本所(久世地域)

・歳末世代間交流

[実施支所] 美甘、川上

・歳末外出サポート

[実施支所] 湯原

・コミュニティーカフェ

[実施支所] 八束

(イ) エ 全般的支援の推進にて記載

(ウ) 高齢者等給食サービス事業 [真庭市受託事業] <( ) は前年度対比>

支所名	配食数 (食)	金額 (円)
北房支所	2,129 ( △232)	1,916,100 ( △208,800)
勝山支所	2,385 ( △587)	2,146,500 ( △528,300)
湯原支所	2,404 ( △339)	2,163,600 ( △305,100)
中和支所	207 ( △193)	186,300 ( △173,700)
八束支所	1,308 ( 63)	1,177,200 ( 56,700)
川上支所	765 ( 137)	688,500 ( 123,300)
合 計	9,198 (△1,151)	8,278,200 (△1,035,900)

真庭市介護予防・日常生活支援総合事業

(生活支援サービス事業) [真庭市受託事業] <( ) は前年度対比>

支所名	配食数 (食)	金額 (円)
北房支所	254 ( 254)	228,600 ( 228,600)
勝山支所	85 ( 85)	76,500 ( 76,500)
湯原支所	152 ( 152)	136,800 ( 136,800)
中和支所	120 ( 120)	108,000 ( 108,000)
八束支所	26 ( 26)	23,400 ( 23,400)
川上支所	72 ( 72)	64,800 ( 64,800)
合 計	709 ( 709)	638,100 ( 638,100)

(エ) お助け訪問事業 [真庭市受託事業]

在宅福祉サービス 訪問介護事業に掲載

イ 障がい者(児)支援の推進

【目標】

地域で自立した生活が可能になるよう関係機関と連携し、必要なサービスを提供します。

(ア) 福祉機器介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、声の広報

(イ) 福祉移送サービス [真庭市受託事業]

【実績】

(ア) 声の広報は、毎月の社協だよりや広報まにわの情報をボランティアの協力によりCDに録音し、音声でご自宅にお届けしました。利用者数 14 名

(イ) 福祉移送サービス [真庭市受託事業] <( ) は前年度対比>

支所名	利用者延べ人数	金額 (円)
本 所	—	133,378 ( △125,350)
北房支所	231 (△39)	4,422,879 (△1,532,753)
落合支所	73 ( △7)	1,044,722 ( △763,457)
勝山支所	71 ( 6)	751,016 ( 189,903)
美甘支所	20 ( 0)	511,690 ( 118,666)
湯原支所	46 ( △3)	553,727 ( △69,480)
合 計	441 (△43)	7,417,412 (△2,182,471)

ウ 子育て支援の推進

【目標】

地域住民や関係機関と連携し、子育てサロンの設置や子育て支援ボランティアの育成・支援を行います。

【実績】

子育てサロンの育成支援と助成金の交付及び関係機関との連携を図りながら情報提供を行いました。サロン開催 2 か所(平成 27 年度実績 3 か所)

エ 全般的支援の推進

【目標】

福祉機器介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、たすけあい号貸出事業、レクリエー

ション用具貸出等を実施し、在宅の高齢者、障がい者(児)及び住民の地域福祉活動を支援します。

老朽化した備品のメンテナンスや更新を適宜行います。

**【実績】**

福祉器具介護用品貸出事業、福祉車両貸出事業、たすけあい号貸出事業により在宅介護者の支援及び福祉活動団体等の支援を行いました。

福祉機具・物品等の貸出実績 (件数)

貸出物品 車輛	車いす	ベッド等 介護機器	福祉体験 学習用品	福祉車輛	たすけあい号 マイクロバス	レクリエー ション用具	その他
貸出件数	201	100	47	126	85	106	17

③ 相談支援の実施

ア 相談窓口機能の充実

**【目標】**

相談援助の専門職として、的確、適切な対応に努めます。

**【実績】**

社協職員基礎研修(コミュニティ・ソーシャルワーク研修)、事例検討会等、職場外研修への参加により、担当職員の資質向上に努め円滑で迅速な相談援助を実施しました。

イ 心配ごと相談所の開設[真庭市受託事業]

**【目標】**

(ア) 身近な総合相談窓口として、問題解決に向けて適切な相談援助を行います。

(イ) 相談員の研修会を開催します。年1回

**【実績】**

事業費総額 2,053,602 円(前年度対比△352,253 円)

地区別相談件数計 72 件(前年度対比△46 件) (件)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	本所
6	20	20	6	4	8	0	6	0	2

心配ごと相談員研修会

日時 平成 29 年 3 月 6 日(月)

場所 久世公民館

内容 講座「身近な法律知識」

講師 金平宏展司法書士事務所 金平 宏展氏

相談所開設日等の周知(MIT、告知放送、社協だより等での周知)

ウ 生活福祉資金の貸付事業 [県社協受託事業]

**【目標】**

民生委員等と連携し、利用者の生活指導や償還指導に努め、経済的自立と生活の安定を支援します。

貸付の対象とならない人への支援も関係機関等と連携をとりながら取り組みます。また、生活困窮者自立支援事業と連携・協働し、生活困窮世帯の自立支援に取り組みます。

**【実績】**

平成 28 年度新規貸し付け 0 件



平成 28 年度相談受付件数 15 件

事業費総額 3,070,361 円（前年度対比 4,125 円）

平成 28 年度末現在貸付件数 11 件（前年度対比△3 件）（貸付件数）

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
1	4	3	1	0	0	0	1	1

#### エ 日常生活自立支援事業 [県社協受託事業]

##### 【目標】

行政等の関係機関と連携し、利用者の権利を守る事業として適切なサービスの提供に努めます。今後利用者の増加が見込まれることを踏まえ、生活支援員の確保と各支所担当職員の資質向上に努めます。

生活支援員研修会の開催。関係部署と情報共有を図り、利用者の地域支援に取り組みます。県社協が主催する研修会や連絡会等に参加し、専門性の向上や地域との連携に努めます。

##### 【実績】

実利用者数（平成 28 年度末 契約者数）32 件（前年度対比 2 件増）

平成 28 年度相談援助件数 1,399 件

事業費総額 6,756,942 円（前年度対比△1,268,700 円）（件数、人）

	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
利用件数	2	12	9	4	3	2	0	0	0
生活支援員 （実動数）	2	7	6	3	1	3	0	0	0

- ・日常生活自立支援事業生活支援員情報交換会  
南部 平成 29 年 2 月 23 日（木）久世公民館  
北部 平成 29 年 2 月 27 日（月）湯原保健福祉センター
- ・権利擁護フォーラム（県社協主催）  
平成 28 年 7 月 28 日（木）岡山コンベンションセンター
- ・市民後見人養成研修（県社協主催）  
平成 28 年 8 月 17 日（水）～10 月 19 日（水）全 7 回 津山総合福祉会館
- ・岡山県市民後見人情報交換会 津山総合福祉会館  
平成 28 年 6 月 27 日（月）
- ・平成 28 年度市町村社協「日援事業あり方検討会」  
平成 28 年 10 月 28 日（金）～平成 29 年 2 月 28 日（火）全 3 回
- ・成年後見制度情報交換会出席（年 4 回開催）  
成年後見人制度の啓発促進に向け、地域包括支援センターや関係機関との情報交換や連絡会議の定期開催に参加しました。

#### オ 地域を取り巻く状況の変化や深刻化する地域の生活課題への対応

##### 【目標】

地域で暮らす生活困窮者や低所得者等への支援体制の検討を行います。

##### 【実績】

福祉活動専門員が積極的にアウトリーチに取り組み、潜在的なニーズの発見に取り組みました。

平成 28 年度アウトリーチ活動件数 520 件

### (3) 地域福祉推進のための環境整備の推進

#### ① 福祉教育の推進

##### 【目標】

児童・生徒への福祉教育の推進。地域住民、医療、福祉関係者等専門職へ福祉教育の推進。

##### 【実績】

ア 学校での福祉教育支援

(ア)地域型福祉学習指定校数 合計 27 校(前年度対比△3 校)

助成総額 533,924 円(前年度対比△44,357 円) (学校数)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
4	6	5	5	1	3	1	1	1

小学校 22 校 中学校 4 校 高等学校 1 校

(イ)学校福祉体験支援 支援回数 28 回

車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験、手話体験講座、ボランティア講座  
点字体験講座、当事者の講話等の支援を実施しました。(回)

北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上
9	7	7	4	0	1	0	0	0

#### ② 広報啓発活動の推進

##### 【目標】

社協活動が十分に周知できるよう広報活動を組織的・計画的に実施。広報紙「社協だより」の内容充実、ホームページの更新、各広報手段の積極的な活用。広報委員会の活性化。広報委員会の開催目標 4 回(平成 27 年度実績 4 回) 社会福祉大会の開催。

##### 【実績】

・社会福祉大会の開催

平成 28 年 11 月 26 日(土)12:00～ 勝山文化センター(参加者約 600 人)

第 1 部 式典

真庭市社会福祉協議会長表彰(個人 41 名、13 団体)

民生委員児童委員 27 名、社会福祉施設関係 8 名

優良社会福祉推進 6 名、13 団体

真庭市身体障害者福祉協会会長表彰

更正援護 1 名、自立更正 3 名、感謝状 1 名

真庭市老人クラブ連合会長表彰 個人 12 名、8 団体

第 2 部 記念上映

映画「きみはいい子」(字幕版)

・広報委員会の開催

第 1 回 平成 28 年 6 月 6 日(月) 久世公民館

第 2 回 平成 28 年 9 月 16 日(金) 久世公民館

第 3 回 平成 28 年 12 月 19 日(月) 久世公民館

第 4 回 平成 29 年 3 月 17 日(金) 久世公民館

### ③ 調査・研究活動の推進

#### 【目標】

福祉に対する地域ニーズを把握し、ニーズに即した福祉活動を展開できるよう調査研究を行います。地区別座談会でのヒアリングやふれあい・いきいきサロン等での意向調査を積極的に行います。(市内全域で座談会開催を目標とします) 第3次地域福祉活動計画策定に向けた各種調査を行います。

#### 【実績】

地区社協、ふれあい・いきいきサロン、ボランティア団体代表者へのアンケート調査、ふれあい・いきいきサロン未設置自治会や休止サロンへの調査、民生委員児童委員、障がい者や子育て中の親へのアンケート調査や聞き取り調査を行い、地域福祉活動の推進に活用しました。

また、法人後見事業検討プロジェクトチームにより、法人後見事業の実施に向け、事業推進体制、財源確保等の調査、研究活動に取り組みました。

### ④ 社会資源の活用・改善・開発

#### 【目標】

アウトリーチ活動や座談会での地域課題解決に向け、市や関係機関への提言。社会資源把握や活用に向けた資源マップ(制度・サービス・支援事業所)作成に向け、地域住民や関係機関と協議を行います。

#### 【実績】

アウトリーチ活動や座談会等で把握した地域課題の解決に向けて、地域ケア会議等を通じて、市内関係機関へ提言を行いました。

### ⑤ 住民の権利擁護の推進

#### 【目標】

日常生活自立支援事業の啓発・利用促進。成年後見制度の啓発・利用促進。地域福祉推進における個人情報保護と地域で共有できる仕組みづくり。社会福祉協議会による法人後見の取り組みについて検討。

#### 【実績】

##### ・法人後見プロジェクト会議の開催

第1回	平成28年	4月21日(木)	久世公民館
第2回	平成28年	6月2日(木)	久世公民館
第3回	平成28年	7月22日(金)	久世公民館
第4回	平成28年	8月4日(金)	久世公民館
第5回	平成28年	8月29日(月)	久世公民館
第6回	平成28年	9月21日(水)	久世公民館
第7回	平成28年	10月13日(木)	久世公民館
第8回	平成29年	2月17日(金)	久世公民館

##### ・岡山県家庭裁判所津山支部状況説明

平成28年 8月15日(月) 岡山家庭裁判所津山支部

##### ・理事会にて中間報告

平成28年 9月12日(月) 久世公民館

##### ・法人後見実施要綱、法人後見運営委員会設置要綱の整備

⑥ 評価体制の整備

【目標】

事業、年度評価の実施と第2次地域福祉活動計画の評価。事業評価のための評価シートの活用。

【実績】

年度別事業評価シートにより、各種地域福祉事業の評価を行いました。

3 在宅福祉サービス

(1) 訪問介護事業所（介護予防訪問介護事業所、障害者総合支援事業、介護予防訪問・お助け訪問〔真庭市受託事業〕を含む）

【目標】

利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域において安心して暮らせるよう、自立支援サービスに努め、利用者満足度100%を目指します。

ア 利用者個々のニーズにあった、適切なサービスを提供します

(ア) 年間研修計画及び個人目標により自己研磨・自己啓発に努めます。

(イ) 利用者理解と接遇力、コミュニケーションの向上を図ります。

(ウ) 同行援護資格を取得します。

イ 業務管理体制の強化により、適切なサービスを迅速に提供し、効率化を図り、職員の一体化を目指します。

(ア) 職員相互のコミュニケーションを図りサービスの質の向上に努めます。

(イ) 特定事業所加算を継続し、発展・効率化を図ります。

ウ 多職種及び地域福祉部門と連携し、地域包括ケアの一員として積極的に寄与します。

【実績】

介護サービスの質と技術向上を目標にした年間研修計画の実施により、毎月の定例研修会を開催し意見交換を行い、サービスの改善を図りました。

訪問介護では、予防介護からお助け訪問に移行することで、収入が減少しています。また独居・高齢世帯が多く、重度化により施設入所が目立っています。そのため重度者の身体介護の回数も減少し収入減に繋がっています。また、南事業所においては、障害者自立支援から介護保険に移行される方がありました。

同行援護研修に参加し資格を取得しました。障がい者の方の満足が得られるサービスができるよう努めました。

訪問介護（介護予防訪問介護）事業

〈（ ）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合計
訪問介護南事業所	5,847,890 (△194,790)	46,355,206 (△4,791,287)	52,203,096 (△4,986,077)
訪問介護北事業所	2,146,424 (△251,234)	18,096,925 (△3,354,921)	20,243,349 (△3,606,155)
合計	7,994,314 (△446,024)	64,452,131 (△8,146,208)	72,446,445 (△8,592,232)

## 訪問介護（介護予防訪問介護）事業

延べ 21,733 回 19246 時間 11 分

月	訪問介護南事業所		訪問介護北事業所		合計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4月	1,355	1193:42	446	404:19	1,801	1598:01
5月	1,350	1175:44	417	389:43	1,767	1565:27
6月	1,466	1284:48	436	411:25	1,902	1696:13
7月	1,415	1232:07	449	426:01	1,864	1658:08
8月	1,395	1228:19	430	408:40	1,825	1636:59
9月	1,373	1226:51	464	427:56	1,837	1654:47
10月	1,253	1111:41	459	426:21	1,712	1538:02
11月	1,279	1140:51	445	411:35	1,724	1552:26
12月	1,308	1140:09	465	409:03	1,773	1549:12
1月	1,222	1056:15	421	357:14	1,643	1413:29
2月	1,324	1132:37	483	436:12	1,807	1568:49
3月	1,509	1307:22	569	507:16	2,078	1814:38
合計	16,249	14230:26	5,484	5015:45	21,733	19246:11

## 障害者総合支援（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）事業（（ ）は前年度対比）

事業所名	利用者負担（円）	事業報酬（円）	合計
訪問介護南事業所	105,561 ( 18,876)	11,567,459 (△955,585)	11,673,020 (△936,709)
訪問介護北事業所	554 ( 554)	5,535,496 ( 195,406)	5,536,050 ( 195,960)
合計	106,115 ( 19,430)	17,102,955 (△760,179)	17,209,070 (△740,749)

## 障害者総合支援（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）事業

月	訪問介護南事業所		訪問介護北事業所		合計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4月	299	282:30	154	128:30	453	0411:00
5月	290	271:30	160	133:30	450	0405:00
6月	305	288:30	161	135:29	466	0423:59
7月	277	262:28	156	130:00	433	0392:28
8月	289	275:14	158	132:38	447	0407:52
9月	272	269:30	153	127:58	425	0397:28
10月	270	260:45	161	133:30	431	0394:15
11月	263	252:15	152	128:00	415	0380:15
12月	252	250:45	142	118:00	394	0368:45
1月	219	208:15	146	121:00	365	0329:15
2月	232	228:15	134	111:00	366	0339:15
3月	256	240:30	99	87:00	355	0327:30
合計	3,224	3090:27	1,776	1486:35	5,000	4577:02

## お助け訪問事業 [真庭市受託事業]

456人 2,065回

事業所名	訪問時間(基準額)	人数 (人)	利用回数 (回)	金額 (円)
南事業所	20分以上45分未満	9	32	3,005,920
	45分以上	369	1,644	
北事業所	20分以上45分未満	4	15	695,100
	45分以上	74	374	
合 計		456	2,065	3,701,020

## (2) 訪問入浴介護事業(介護予防訪問入浴介護事業、障害者訪問入浴サービス事業 [真庭市受託事業] を含む)

## 【目標】

真庭市唯一の訪問入浴介護の事業所としての自覚を持ち、利用者の尊厳を守り、住み慣れた地域において安心して暮らせるよう、在宅生活を支えます。また、安全・快適なサービスの提供を行い、利用者満足度100%を目指します。

## ア 真庭市全域をカバーする組織運営

(ア) 職員の適切な配置により、利用者ニーズに応えます。

(イ) 車両・設備の安全点検を万全に行い、安全施業に徹します。

## イ 利用者の重度化に対応できる人材を育成します。

(ア) 年間研修計画及び個人目標により自己研磨・自己啓発に努めます。

(イ) 利用者理解と接遇力、コミュニケーションの向上を図ります。

(ウ) 医療知識の習得のため研修に積極的に参加します。

## ウ 多職種との連携により、安全で快適なサービスを提供します。

医療機関、居宅介護支援事業所と連携しながら、きめ細やかな対応をすることにより、安全を確保するとともに、快適な入浴となるよう事業を推進します。

## 【実績】

新規利用者はあるが、終末期、重度化の利用者が対象であり、継続した利用が難しく、安定した訪問件数の確保が困難な状況であります。障害者(児)入浴では、障害者施設の利用等で利用回数減少しています。1日の平均稼働訪問件数は昨年の8.7件から7.4件と減少しています。

## 訪問入浴介護(介護予防訪問入浴介護)事業 &lt;( )は前年度対比&gt;

事業所名	利用者負担(円)	介護報酬(円)	合 計
訪問入浴介護南事業所	2,267,172 (△181,566)	19,664,468 (△1,191,324)	21,931,640 (△1,372,890)

訪問入浴介護南事業所

月	人	回数	月	人	回数
4月	46	154	10月	37	137
5月	41	153	11月	35	136
6月	41	168	12月	37	128
7月	42	160	1月	36	126
8月	37	149	2月	40	141
9月	37	130	3月	38	146
			合計	467 (平均 38.92)	1,728

障害者（児）訪問入浴事業

利用者延べ件数 193件（△54件） 〈（ ）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担(円)	受託金(円)	合計
訪問入浴介護 南事業所	47,500 (△86,250)	2,426,000 (△608,750)	2,473,500 (△695,000)

(3) 通所介護事業(介護予防通所介護事業を含む)

【目標】

利用者が可能な限り、自宅で自立した日常生活を送ることができるように、孤立感の解消と心身機能の維持向上、介護家族の負担の軽減を図ります。

ア 利用者の重度化への対応力向上と安全施業を目指します。

(ア) 安全・安心の送迎に対する職員教育を徹底します。

(イ) 車両・設備の安全点検を万全に行い、安全施業に徹します。

(ウ) 年間研修計画及び個人目標により自己研磨・自己啓発に努めます。

(エ) 認知症および重度化の利用者への対応能力を向上させます。

イ 生活機能の維持向上に向けたサービスを提供します。

楽しく、継続的なプログラムの実施をします。

ウ 口腔ケアを重点的に実施します。

【実績】

利用者実績年間延べ3,251人 1日の利用者数は平均11.09人。前年度296人の減で1月あたり24回の利用減となりました。

ア 利用者の重度化への対応力向上と安全施業を目指しました。

(ア) 運転を行う職員及び運転業務委託の方への安全運転に対する声かけ、デイサービスの看板をかねた送迎車であることの意識付けを行いました。

(イ) 車両は毎月点検を行い、異変には早急に対処し、車両事故はありませんでした。

(ウ) 年度初めにデイでの目標とそれに沿った個人目標を設定し、日々の業務の中で実践できるよう努めました。

(エ) 前年度、認知症介護実践研修で学んだことを活かし、認知症の方への対応を職員全体で向上できるよう、情報交換と実践を行いました。

イ 午前の体操やレクリエーションでは手足の挙上動作、筋力維持の効果を取り入れたものを行いました。認知症予防に回想法や脳トレも取り入れました。

ウ 独居などでは十分に口腔ケアできない方へ対し、義歯を外して洗浄など、口腔内の清潔保持に努めました。ご本人だけでは十分に歯磨きできていない方へは、磨きなおしをさせていただきました。

通所介護（介護予防通所介護）事業

〈（ ）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合計
通所介護湯原事業所	4,358,169 ( 140,281)	21,804,091 ( △178,551)	26,162,260 ( △38,270)

通所介護(介護予防通所介護)事業 実人数平均 37 人 延べ実人数 3,251 人  
通所介護湯原事業所

月	実人数	延べ人数	月	実人数	延べ人数
4 月	40	267	10 月	34	279
5 月	37	251	11 月	35	260
6 月	36	293	12 月	38	248
7 月	37	280	1 月	39	255
8 月	35	294	2 月	38	244
9 月	36	275	3 月	41	305
		合 計			3,251
			446 (平均 37.17)		

(4) 短期入所生活介護事業(介護予防短期入所生活介護事業を含む)

【目標】

介護者の介護負担の軽減を図り、利用者が自立した日常生活が送れるよう適切なサービスを提供します。

ア 在宅で安定した生活ができるよう、生活習慣の習得や心身機能の維持向上につながるサービスの提供を行います。

イ 利用者理解と接遇力、コミュニケーションの向上を図ります。

イ 他の事業所との連携を強化し、適切な個別対応を行います。

【実績】

在宅介護生活の長期化による介護負担軽減のために、毎月定期的に利用される方が増えていますが、稼働実績 84.1%で前年より 1.5%減少しました。

平成 29 年度からの減床が公表された四半期は利用の減少が見られました。また、リクライニング車椅子対応の送迎車両を導入し、安心、安全な送迎に努めています。

短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）事業 〈（ ）は前年度対比〉

事業所名	利用者負担（円）	介護報酬（円）	合計
短期入所生活介護事業所	8,376,002 ( 710,850)	22,692,925 (△3,053,553)	31,068,927 (△2,342,703)



短期入所生活介護（介護予防短期入所生活介護）事業

月	延べ人数	月	延べ人数
4月	268	10月	251
5月	262	11月	274
6月	224	12月	255
7月	278	1月	226
8月	263	2月	217
9月	264	3月	241
		合計	3,023

(5) 地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホームやすらぎ)

【目標】

ア 運営の基本方針

- (ア) 入所者の尊厳を守り、穏やかに楽しく生活できるサービスの提供を実施します。
- (イ) 地域密着型介護老人福祉施設として、地域住民の代表、利用者及び家族等による運営推進会議を開催し、地域住民の意見を運営に反映させていきます。
- (ウ) 運営推進委員会を中心として、地域住民・ボランティアとの交流を推進します。

イ 組織管理

- (ア) 利用者本位の施設運営に心がけます。
- (イ) 協力病院、協力歯科医院との連携強化により入所者の健康維持を図ります。
- (ウ) 個人としてだけでなく、チームとしての介護技術の向上を目指します。
- (エ) 年間研修計画により認知症及び重度化に対応のできる職員の育成を行います。
- (オ) 運営推進会議等の意見を取り入れ、効率のよい運営方法を検討していきます。

ウ 安全管理及び防火管理

- (ア) 接遇研修等各種職員研修を実施し、施設の健全管理に努めます。
- (イ) 腰痛予防を意識した介護方法の実践を行います。
- (ウ) 施設管理責任者を配置するとともに防火管理者を併せて配置し、防火設備点検等を行います。

【実績】

ア 運営の基本方針に基づきサービス提供を実施しました。28年度は、季節行事に重点を置き、入所者が楽しく過ごしていただけるよう取り組みました。

イ 医療機関等の連携を図ると同時に、研修会に参加し、介護技術の向上と事故防止に努めました。

ウ 入所者の健康管理・早期対応に努めましたが利用率88.9%で前年度より4.8%減少しています。胃ろう増設・尿路感染等による入院が延べ415日あり、また新規入所が4件あり、中に決定まで長日数を費やしたケースもありました。

29年度からの6床増については29年1月から待機者の順位付け・ご家族との連絡調整等を行い、29年4月1日に6名入所で満床となっています。

地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホームやすらぎ)〈( )は前年度対比〉

事業所名	利用者負担 (円)	介護報酬 (円)	合計
特別養護老人ホーム 「やすらぎ」	8,034,813 ( 754,794)	27,785,936 (△1,745,554)	35,820,749 ( △990,760)

地域密着型介護老人福祉施設利用者数(特別養護老人ホームやすらぎ)

月	延べ人数	月	延べ人数
4月	207	10月	265
5月	297	11月	281
6月	270	12月	279
7月	263	1月	303
8月	255	2月	252
9月	276	3月	297
		合 計	3,245

(6) 居宅介護支援事業、(介護予防支援事業[真庭市受託事業]を含む)

【目標】

介護保険の認定を受けた利用者が、可能な限り自宅で自立して日常生活を送ることができるよう、多職種と連携しながら、最適な支援計画を作成します。

ア 年間研修計画及び個人目標により自己研磨・自己啓発に努めます。

イ 利用者理解と接遇力、相談援助技術の向上を図ります。

ウ 地域包括ケアにおいて積極的に役割を推進します。

【実績】

ア 年間研修計画のとおり、研修会へ参加し、自身の知識向上・研鑽に努めました。

イ 利用者及び家族の話を傾聴し寄り添い、その望む生活の実現のために、相談や助言を行い、迅速な対応に努めました。

ウ 各地域ケア会議へ参加し、地域のニーズの発見や情報収集に努めました。

居宅介護支援事業〈上段居宅介護支援事業 下段介護予防マネジメント ( )は前年度対比〉

事業所名	作成件数	居宅介護料 (円)
居宅介護支援南事業所	1,234( 56)	17,693,040( 920,430)
	63( △18)	263,130( △78,260)
居宅介護支援北事業所	1,112( △9)	17,958,820( △391,480)
	44( △91)	173,280( △354,857)
合 計	2,346( 47)	35,651,860( 528,950)
	107(△109)	436,410( △433,117)

介護支援専門員 南事業所 3.3名 北事業所 3名

### (7) 障害者(児)移動介助事業[真庭市受託事業]

#### 【目標】

歩行や車いすの介助、代読や代筆などのコミュニケーション支援などを通じて障がいをもつ人の自立と積極的な社会参加を促進します。

ア 移動介助従事者の研修受講と資格取得者の育成を行います。

イ 関係機関と連携し適切なプランに基づく支援を行います。

#### 【実績】

利用回数の減少と、介護保険への移行で収入の減少がありました。

障害者(児)移動介助事業 <( )は前年度対比>

利用者延べ人数 南事業所 74人(△40人) 北事業所 0人(0人)

事業所名	利用者負担金(円)	受託金(円)	合計
南事業所	16,190 (△4,140)	274,360 (△189,560)	290,550 (△193,700)
北事業所	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	16,190 (△4,140)	274,360 (△189,560)	290,550 (△193,700)

### (8) 元気はつらつデイサービス事業[真庭市受託事業]

#### 【目標】

高齢者に外出の機会を提供し、孤立感の解消ができるよう支援します。

ア グループ活動による楽しい交流の場を提供します。

イ 介護予防のための運動機能訓練を楽しく、機能が維持できるプログラムの工夫をします。

#### 【実績】

平成28年度から始まった元気はつらつデイサービス事業を実施しました。

メニューを工夫し利用者増に努めましたが、制度、受託単価の変更により減額となりました。

元気はつらつデイサービス事業

実績 5,990人

<( )は前年度対比>

支所名	利用者延べ人数	金額(円)
北房支所	1,678 (181)	5,520,620 (△1,515,280)
久世支所(落合)	1,682 (106)	5,533,780 (△2,661,420)
湯原支所	180 (△26)	592,200 (△479,000)
中和支所	415 (87)	1,365,350 (△340,250)
八束支所	1,106 (117)	3,638,740 (△1,504,060)
川上支所	929 (49)	3,056,410 (△1,515,090)
合計	5,990 (514)	19,707,100 (△8,015,100)

### (9) 在宅高齢者生活管理指導短期宿泊事業[真庭市受託事業]

#### 【目標】

地域包括支援センターとの連携を図り、利用者の要望に応えられるプランにより、在宅での生活習慣の改善となるよう生活習慣と体調の管理調整を行います。

**【実績】**

利用者なし

在宅高齢者生活管理指導短期宿泊事業

〈( )は前年度対比〉

事業所名	人数	利用日数	金額(円)
短期入所生活介護事業所 (特養やすらぎ)	0(△2)	0(△3)	0(△19,350)

**(10) 介護事業者として利用者への満足度調査の実施****【目標】**

短期入所生活介護事業のアンケート調査を実施し、サービスの改善に取り組みます。

**【実績】**

施設環境の状況について、職員の対応について等、サービス向上につなげるため郵送によるアンケート調査を入所者家族10名に対して10月に実施し、8名から回答がありました。

結果は特に改善等の意見はなく、施設行事に対しては、外出の機会があったことが好評でした。今後も季節行事や外出行事を取り入れ、楽しみのある生活が送れるよう取り組んでいきます。

**4 施設運営事業****(1) 指定管理施設(川上、八束、中和、湯原地域)****【目標】**

福祉施設機能の充実と利用者の拡大を図り、地域に開かれた施設として役割の向上を目指します。

**【実績】**

事業の効率化を図りながら、地域に根差した施設運営を行いました。

**(2) 落合老人福祉センター****【目標】**

地域福祉及び介護事業の拠点として、適切な管理運営を目指します。

**【実績】**

地域福祉事業、介護事業の事業推進を図り、その拠点として適切な施設運営を行いました。